

「まちづくりミーティング」提案書一覧表

《順不同》

2014.1.19

NO	氏 名	活 動	テーマ	提 案 概 要
1	岩崎英治	まちづくり	①	a.賑わいの中核都市づくり b.癒しの川辺散策路
			③	a.まちづくり条例(自治基本条例)の制定 b.地域別の絵本資産台帳(歴史、文化、自然)を作成、展示 c.インフラレンジャー、里山レンジャー等の創設
2	平賀利二	生涯スポーツ	①	a.軽スポーツの拡充と支援 b.公園の自由な活動環境
3	大塚三郎	環境ボランティア	①	a.市民プールの設置位置 b.ゴミ焼却施設の周辺開発と有効活用
4	片岡英昭	環境ボランティア	①	a.木曽川沿岸、各務原アルプス周辺の散策路 b.犬山との連結と観光客の誘導 c.子供教育の充実
			②	a.防火クラブの拡充 b.朝起き体操
			③	a.インフラレンジャー
5	田口角夫	近隣ケァ	②	a.効果的な防犯体制 b.見守り隊の不足 c.車両の通行規制 d.庭木の繁茂対策 e.空家対策
6	吉田正宏	社協	①	a.鶴沼宿をより歴史を感じる魅力的な観光名所に
			②	a.高齢者の特定健康診断の無料化 b.ふれあいバスの無料化
7	藤井貴代美	女性代表	②	a.空き部屋を利用した母子児童館、三世代交流館
8	薬師寺博子	女性代表	①	a.リタイア組の人材を有効活用 b.オープンな助け合いコミュニティー c.鶴沼駅、城山周辺の観光化 d.犬山の観光客の呼び寄せ e.文化のある各務原市に
9	谷口四朗	民生	②	a.独居生活者の孤独死の事前防止対策
10	杉原美由紀	子育て世代	②	a.空家増加による防犯、治安の問題 b.土地循環を促す補助と案内情報(定住奨励金、空家バンク)
11	小川 久 (オブザーバー)	学校	①	少子化対策と教育環境(若い夫婦の誘導策) a.URエリアの魅力的な再開発(現在入居率約50%) b.遊歩道、公園、合戸池周辺の環境整備とセキュリティー(照明) c.駅との交通の利便性の向上(ふれあいバスのピストン化) d.若い母親への子育て環境(ベビーシッター、託児所)
			②	外国籍の児童と保護者への支援及び家庭への支援 a.寺小屋事業による生活支援と学力支援及び保護者コース b.寺小屋事業拠点をUR住宅内に設置
12	倉石 晃	子育て世代	①	a.学校における「人づくり講師」の増員による将来の人づくり
13	松浦直毅 (欠席)	子育て世代	②	a.若い夫婦の誘致(定住PR、公立幼稚園の促進、魅力的な公園)
14	水野武男	みどり会	②	a.通学路の安全確保と意見の反映システム b.路上駐車対策での土地の賃貸と組織 c.孤独死対策での事前情報の共有と組織 d.老朽化したURの一部を三セクで買取り交流館や老人保健施設
15	松下恵子	社協	①	a.自然を生かしたマレットゴルフ場
			②	a.空家を利用した地域密着型ハウス開設による助成金

テーマ

① 誇れるまちづくり ② 優しいまちづくり ③ 活気のあるまちづくり

まちづくりミーティング（要旨）

1. 団体等の名称 まちづくりを考える会
2. 日 時 平成26年1月19日（日）13時00分～15時00分
3. 場 所 緑苑コミュニティセンター
4. 出席者 <参加団体> 13名
<市職員> 市長
市民活動推進課長

<内容>

○市長あいさつ

○自己紹介

○テーマ概要説明

テーマ①：誇れるまちづくり

- ・人づくり（教育環境、ボランティア活動、生涯スポーツの活性化）
- ・地域づくり（歴史、文化、自然遺産、観光資源）

テーマ②：優しいまちづくり

- ・通学路の安全確保、危機管理体制
- ・子育て環境、高齢者の福祉環境

テーマ③：活気あるまちづくり

- ・市民参加によるまちづくりシステム（インフラレンジャー等）
- ・自治基本条例（まちづくり条例）の制定（市民参加権と推進組織）

○懇談

<参加者>

- ①マレットゴルフ場の設置を提案します。団地は空き家が増えています。若い方達に入って頂きたいと思い家族が集える場所として、マレットゴルフ場があればと思います。
- ②空き家利用の促進は、社協の「夢実現プロジェクト」助成金を利用して、12月1日から支部社協の拠点として、「ふらっと」を立上げました。しかし、3年間という期間限定の助成金では難しく、今後、助成金がどのような展開をするかをはっきりさせる事によって、地域に夢の実現プロジェクトが広がっていくと思い提案しました。

<参加者>

- ②通学路の安全確保について、青少年育成会議が中心となり、見守り隊ができております。幼い命を守るため、事故防止のため、通学路の見直しをお願いしたいと思います。通学路の表示や、道路上にペイントをして注意喚起をしていますが、通学路に関しては少ないと思います。通学路の表示を鮮明にして、徐行して頂ける規制ができればと思っています。

ます。

- ②路上駐車対策について、1軒の家に3台くらい車を持っており、路上駐車をせざるを得ない。空き地などを有効活用するなどの対策をすれば、効果があると思います。
- ②孤独死の問題について、現在、4人に1人が高齢者であり、自治会、民生委員、近隣ケアなどの皆さんが保有している個人情報共有できるシステムや、組織を構築してはどうかと思います。
- ②老朽化した公団の施設や、住宅の有効活用として、第3セクターなどを作って、老人保健施設を作りたいと思い提案しました。

〈参加者〉

- ①小学校では、子ども達に教育を受ける場で、心構えや、姿勢を教えるという役割を担う教職員として、人づくり講師が着任しております。授業に集中できない子ども達に、集中するよう働きかけ、先生を手伝いながら、授業の質を上げていく事を行っています。子ども達を教えたいという前向きな方に雇用創出の機会になればと思っています。

〈参加者〉

- ②空き家を放置していくと、防犯上や治安上よくない状況だと思っています。不審者が出没したり、子どもを安心して遊ばせたり、通学路でも不安を感じておりますので、空き家を減らす対策をして頂きたいです。

〈参加者〉

- ②孤独死というのは、身近な問題になってきております。それを、未然に防ぐ事ができるかなど、対応策を検討していただけたらと思います。

〈参加者〉

- ①高齢者は、弱いという存在でみられがちですけど、多くの方は元気で豊富な知識と経験をお持ちです。一般的なリタイヤした元気な高齢者をコミュニティに引っ張り出す取り組みを行って頂きたいです。
- ①出来る限り住み慣れた環境の中で、隔離される事なく、可能な限り自立して、安心して暮らせるような地域コミュニティであって欲しいと思っています。元気な高齢者をこの助け合いに活用する有効な手立てを考え出していく事が大事なのではないかと思います。それには、医療体制、在宅介護ケア、お医者さんなどと連携しつつ、統括できる市民病院の存在。公共交通機関の充実など行政の多岐に渡る取り組みが必要だと考えています。
- ①緑苑は美しい自然が残っており、自慢できる地域です。犬山城の景色を眺められる城山荘があります。歴史的にもいい場所ですので、日本でも有名なパテシエや、シェフなど超一流高級店を誘致して、観光客が来るようなお店ができたらと思います。

〈参加者〉

- ②高齢者の方も温もりとか、癒しを求めていると思いますので、空き教室などを利用して、1人暮らしのお年寄りに来て頂き、子ども達の笑顔を見れば、お年寄り達も元気が出ると思います。部屋に閉じこもっているお年寄り達を、外へ出せないかという気持ちで、三世代交流を提案しました。

〈参加者〉

- ①鶴沼宿を魅力的な観光名所になるように再開発して頂きたいと思います。
- ②65歳以上の高齢者に対して、健診を無料にして頂きたい。また、ふれあいバスの無料化も検討して頂きたい。

〈参加者〉

- ②地域の皆様が、安心安全に暮らして頂けるためにも、学校、警察、自治体が三つ巴になって、その他にも、たくさんの組織がありますので、その方たちと一緒に問題点を共有し、安心安全な緑苑を作って頂きたいと思っています。

〈参加者〉

- ①教育に係るお金が安いという事になれば、若い方は空き家の所へ転居してくるようになり、子ども達も増えると思います。
- ②女性防火クラブは、機能してないと思います。70歳以下の元気な方が、女性でも男性でもたくさんおります。火事の時に役立つボランティアの集まりの方がいいと思います。
- ①木曽川の愛知県側は、散歩道が整備されておりますが、岐阜県側は、整備されておられません。木曽川沿いを歩けるように整備して頂きたいです。

〈参加者〉

- ①健康維持というのは、ウォーキングと水泳だと思います。道路はどこにでもあるけど、プールは市内に1箇所しかない。高齢者の体力アップができる事を考えて欲しい。

〈参加者〉

- ②ゴミ屋敷は全国的な問題ですが、近隣の住民は、不安になったり、困ったりするので、今から検討をして頂きたい。

〈参加者〉

- ①犬山城には、年間40万人観光客がきています。木曽川を渡って各務原市にきてもらえるような魅力的なものを、周辺に設置できないだろうか。歴史や文化を感じる施設が増えれ

ばいいと思っております。

- ③まちづくり条例、自治基本条例といわれますけども、今だと、計画が終わった段階で、市民の意見を聞く状態です。課題設定から、市民が参画するようなまちづくりを作って頂きたい。
- ③鵜沼地区は、古墳や農村舞台など貴重な資源がたくさんあります。子どもでも分かる絵本みたいなものを作成し、コミュニティセンターなどに掲示すると、子ども達も認識を持つ事できると思います。
- ③インフラレンジャー、里山レンジャー、スクールレンジャーなど、そういった団体を組織的に作って頂くように進めて頂きたい。

テーマ①について

〈市長〉

マレットゴルフが、各務原市でも共感を持てるかが、課題だと思います。子どもを持つ親さん方からは、プレーパークという提案も出て来ており、プレーパークもマレットゴルフもご意見の1つだと思っています。今後、ご意見を聞きながら検討してまいります。

人づくり講師については、来年度から講師の増員をさせて頂く予定です。

各務原市も文化事業は色々行っております。今年度も、文化財を守る会に村国男依の企画を年間通して実施して頂いておりますし、文化講座も実施しております。ただ、PR不足は否めない部分はあると思います。

犬山城は40万人、鵜沼宿は1万5千人の来場者数という実情です。行政主導ではなく、民間活力を頂いて、どのように活性化させるかという事を考えて頂く機会を設けて行きたいと思っています。

来年度、寺子屋事業を実施し、学ばせたい学校を目指して行きたいと思っております。また、グローバル化が進んでいますので、英語にも力を入れていきたいと思っています。なお、来年度から3年間で、全ての教室にエアコンの整備をし、勉強がしやすい環境を作っていけるとしています。

木曽川右岸の整備については、国土交通省の木曽川右岸上流事務所の管轄地ではありますが、市としても整備の必要性を感じています。

市民プールについては、移動をさせるのは困難です。また、現在、ふれあいバスのルートの見直しをしており、平成27年度に向けて見直している所でございます。

鵜沼地区環境とまちづくりについては、まちづくり支援事業補助金というメニューを、来年度検討しています。団体の立ち上げ支援、団体の活動支援について補助金を出す方向で進めています。また、地域を魅力あるものにするには、行政だけでは限り、アイデアは民間の方があってと思っています。その地域に住む方々が、どの様にPRや発信をしていくか、アドバイスを頂きたいと思っています。

テーマ②について

〈市長〉

空き家対策については、12月に「ふらっと」1月には八木山で「ささえあいの家」を開設頂きました。補助金も初年度は県から、2年目から4年目が市社協からですが、立ち上げに係る補助金という事で4年間ですが、5年目以降については、経過を見ながら検討していきたいと思っています。

3セクについては、条件や経営面での見通しが課題となると思います。ただ、老人保険施設については福祉計画等を持って、地域密着の特別老人ホームなどは市の計画として、バランス良く配置していかないといけないと思っています。

孤独死対策については、安心ネットワークを立ち上げました。民間事業者さんと安心安全の確保についての締結をさせて頂いた所でございます。今後も自治会や民生委員さんのお力添えを頂いて、市内企業や事業所と連携を取り、対策をとって行きたいと思っています。

路上駐車は、警察との協力体制が必要です。今後も警察と連携をして、対処していきたいと思っています。

通学路については、見守り隊の皆様からのご意見を賜りながら、進めてまいります。通学路の見直しは、PTAさんから学校側に連絡を頂いて、協議をするのが必要だと思います。また、行政としても、カラー舗装等を順に進め、子ども達の安心安全の確保に努めてまいります。

空き家への苦情を頂きますと、個別に地権者の方にご連絡をさせて頂いておりますが、行政は民地に入る事が出来ませんので、適正な管理をお願いするのが行政として出来る最大限の所であろうかと思っています。

空き家、空き地、空き店舗を積極的に利用して頂くには、地主や家主の承諾が必要不可欠であります。また、入居を促すには、各務原市に魅力がないとダメだと思っています。地

域の魅力をPRしながら、定住して頂くように促すと共に、空き家の対策にも努めていきたいと思っています。

元気な高齢者の活用については、市民活動推進課で、団体の紹介をすると共に、まちづくり支援補助金を活用して頂き、ご活躍を頂けるようにしたいと思っています。

城山荘については、現在、調停中となっており、この問題が解決しない限り、城山の開発を進める事が出来ない状況になっています。

三世代の交流については、子ども達が、集い、遊び、そして高齢者の方も集い、寄って頂き、輪を広げていきたいと思っています。

ふれあいバスについては、現在、見直しをしている最中でございます。ただ、受益者負担という事もありますので、無料というのは難しいと思います。また、特定健診無料化についても、費用等を総合的に検討しており、据え置きになるか、もう少し抑えるか、予算編成で確認をしている所です。

安全な緑苑については、私が本当にお願ひしたい民間活力であり、地域力の結集がそこにあると思っています。引き続き更なるご活躍をお願いします。

女性防火クラブは、高齢化が進んでおりますが、会長さんを始め皆さん頑張っておりますので、長い目で見て頂きたいと思っています。ただ、その中に男性もという事ですが、自主防災リーダー研修会を行っています。その方々に地域の防災リーダーとして、ご活躍を頂けるとと思っています。

テーマ③について

〈市長〉

インフラレンジャーについては、市民の方が、インフラへの関心、維持管理の手助けを頂けるのは、有効な手段だと思っています。ただ、現地の情報を共有できる仕組みづくりが今後必要となってくると思っていますし、エキスパートの技術者であれば問題ないのですが、ハードルが高いと思いますので、そういった選定も課題になってくると思っています。

まちづくり条例の制定は、魅力あるまちづくりを実現するために、条例が必要なのか、吟味しないとイケないと思っています。ただ、どの段階から市民参加を頂くかは、検討してまいります。

○参加者からまとめのことは

市長が話されました、市民の市民による市民のための市政という、メッセージの中に、全て含まれていると思っています。民間活力や、民間の知恵を拝借したいという、我々が市に対して、何かを求めるのではなく、我々に何が出来ますか、というメッセージだと思っています。その思いが市全体に広がれば、市の先行きは明るいと思っています。

○オブザーバーからまとめのことは

〈校長先生〉

今後も、地域の方々とコミュニケーションをとりながら、経験豊かな皆さんの人材を活用させて頂き、自分の考えをしっかりと話せる子。根拠を持って話せる力を付けさせる事を、学ばせていきたいと改めて学校の使命を感じた所です。

〈連合会長〉

鵜沼地区は東の玄関口であり、鵜沼地区を発展させる事が、各務原市の将来の発展に繋がっていると思っています。連合会長として、市の総合計画などで意見を出していますが、若者が増加すれば、まちに活気が出て、明るくなると思うので、そういった方向に力を入れて頂ければと思います。

○市長からまとめのことは

本日頂きましたご意見については、精査して出来る事から対策をして行きたいと思っています。行政だけでは、各務原市の発展を支える事は出来ないと思っています。各務原市は魅力ある人や企業が、意気揚々と力を持って頑張っていると思っています。今後も、市行政や地域に対して、ご提言を頂きたいと思っています。